

健康通信

医学の進歩により治癒が期待できる病気の1つになってきました



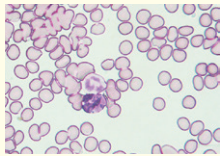
血液内科部長医師

綿本 浩一

白血病（主に急性白血病）について

血液ってなに？

人の血液は、酸素を運搬する赤血球、主に細菌やカビ、ウイルスを攻撃する白血球（好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球）、血管の壁に張りついて出血を止める血小板などの血球と液体である血漿（けっしょう）成分から構成されています。血球は骨の中にある骨髓で造血幹細胞という細胞が成熟して造られます。



どうして「白血病」なの？

白血病は、ドイツの病理学者ウィルヒョウが見た死亡患者の血液が白っぽくなっていたので、ギリシャ語の「白い血」をラテン文字へ換字した白い(leukos)と血(haima)から造語したleukemia(白血病)と名付けられたといわれています。つまり、普段は赤血球の色で赤く見える血液が、がん化した白血球（白血病細胞）が異常に増えたため、白っぽく見えたと想像されます。しかし、実際に血液が真っ白になることはなく、ほとんどの白血病患者では血液の色は赤いままで。

白血病の分類

白血病は、いわゆる「血液のがん」のことです。白血病には、いくつもの種類があります。急速に進行する「急性白血病」ががん化した白血球が急速にふえ、治療しないと数週間から数カ月以内に命を落とすと、ゆっくりと経過する「慢性白血病」(さまざまな成熟段階で白血球がふえ、場合によっては年単位で進行する)に分類され、さらにがん化する白血球の種類により、「骨髄性白血病」と「リンパ性白血病」とに分類されます。

急性白血病の症状は？

急性白血病では、適切な治療が行われなかった場合、白血病細胞が無制限に増え続けることによって、正常な血液細胞がうまく造られなくなります。その結果、疲れやすさ・めまい・呼吸困難などの貧血症状、抵抗力の低下による感染症、歯肉出血・鼻出血・皮下出血などの出血傾向が認められるようになり、最終的には生命が脅かされることとなります。

急性白血病の治療は？

急性白血病の治療には、抗がん剤治療や造血幹細胞移植があります。基本は抗がん剤治療ですが、抗がん剤の効きやすさや年齢などを考慮して造血幹細胞移植の適否を判断していきます。以前は「白血病Ⅱ死に至る病」でし



問合先 市民病院 (☎76・4131)

たが、現在では医学の進歩により、治癒が期待できる病気の1つになってきました。

最後に

白血病の原因はまだ完全に解明されたわけではありませんが、白血病を含めて、「がん」はいくつもの遺伝子異常(遺伝子の傷)が原因で発症すると考えられています。放射線や化学物質、抗がん剤などの薬物も要因の1つになりうるということがわかっています。また、白血病は一般的に遺伝する病気ではありません。ですから、白血病の親を持つ子どもが必ず白血病になるというわけではありません。さらに、白血病が伝染することもありません(エイズというウイルスが原因である成人T細胞白血病・リンパ腫は除きます)。

information

職員募集の

お知らせ

市民病院嘱託職員

◆管理栄養士

勤務開始日 平成28年6月1日(木)

勤務 月～金曜日午前8時30分～午後5時

対象 管理栄養士資格取得者

人員 1人程度

賃金 243,700円(一時金無し)

申込み 5月6日(金) (必着) までに、履歴書(写真貼付)、資格免許証(写し)を

郵送または直接病院総務課

※後日面接予定

